

自分のペースで楽しむのが
このまちの 楽しみ方。

レンタカー (市外局番：083)

●下関駅周辺
駅レンタカー / 下関営業所 Tel.224-0232
タイムズカー下関駅前店 Tel.224-0909
ニッポンレンタカー / 下関駅西口営業所 Tel.223-0919

●新下関駅周辺
ニッポンレンタカー / 新下関駅前営業所 Tel.257-0919
駅レンタカー / 新下関営業所 Tel.256-3361
トヨタレンタリース山口 / 新下関駅前店 Tel.256-0100
オリックスレンタカー新下関店 Tel.263-3820
日産レンタカー新下関駅前店 Tel.250-6423
タイムズカー新下関駅前店 Tel.263-0505

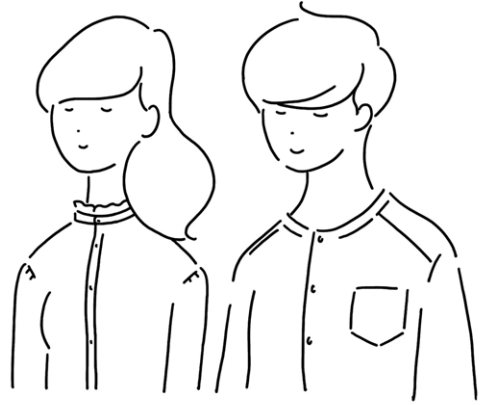
観光案内所

豊北地区
豊北町観光協会
Tel.083-786-0234
下関市豊北町大字神田上 314-1
(道の駅「北浦街道豊北」内)
営業時間 8:30~17:00

豊田地区
道の駅「蛸街道西ノ市」情報コーナー
Tel.083-767-0241
下関市豊田町大字中村 876-4
営業時間 8:30~17:00



しものせきドライブガイド
豊北時間
豊田時間



この旅は、WEBとも連動しています。



「かんもんノート」は下関市にあるゲストハウス「uzuhouse(ウズハウス)」が、地元の人に関門エリアの魅力を知ってもらいたい、観光で訪れた方に関門エリアを楽しんでもらいたいとの想いから運営しているローカルウェブメディアです。



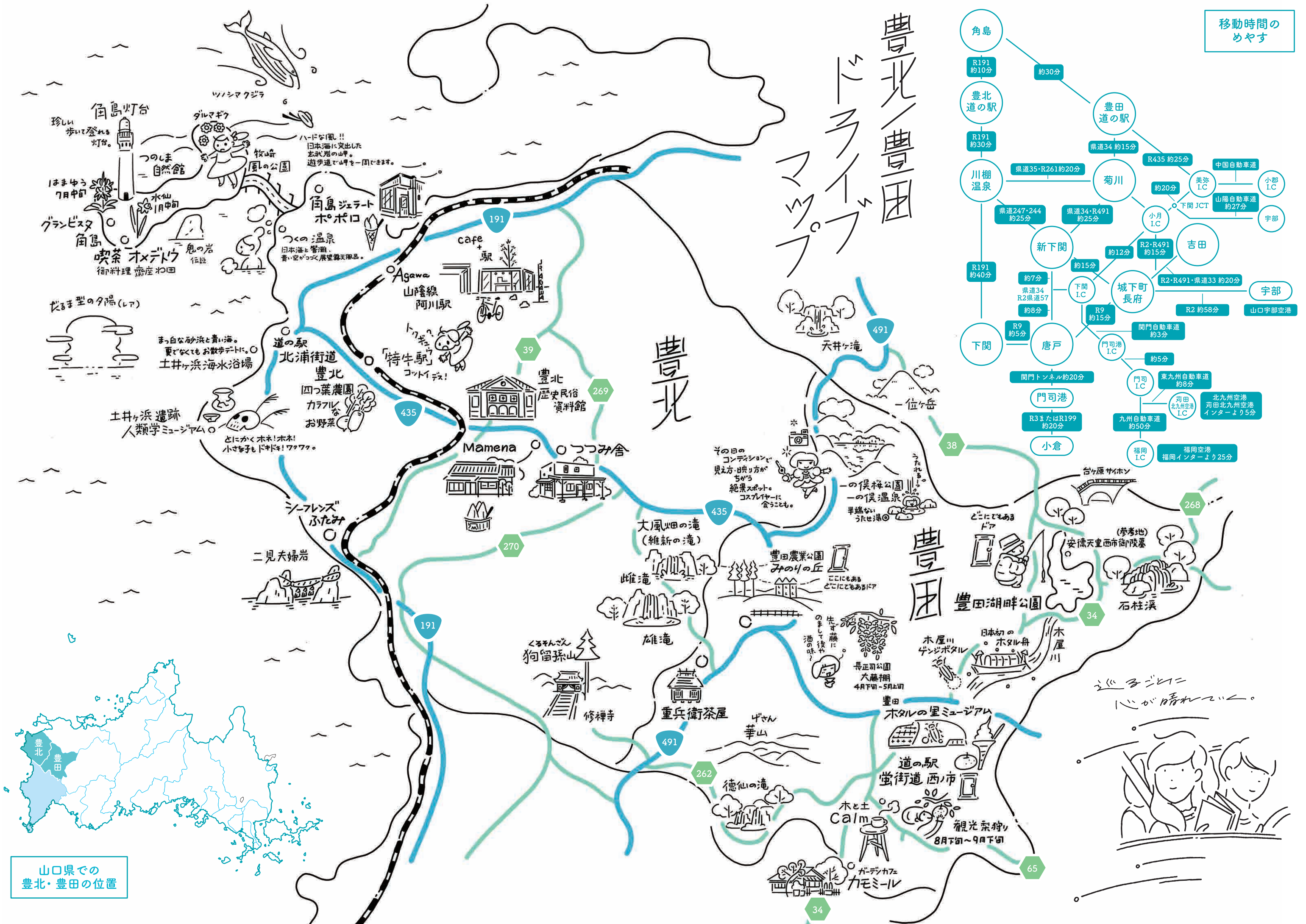
下関市のガイドブックweb版

発行 しものせき観光キャンペーン実行委員会
企画編集 かんもんノート
取材・文 北村侑子
写真 萩康博 (カシャッと舎)
イラスト 片島荷風
デザイン 片島雄一 (もりのとしび)

しものせきドライブガイド
豊北時間
豊田時間

ゆっくりすぎてく。

しものせき観光キャンペーン実行委員会
Tel.083-227-3305 下関市観光政策課





豊田

大自然との語らいを
Instagramに楽しんだ。

木々の瑞々しい空気。歩くたびに舞いあがる土のにおい。穏やかに空を映し出す湖。ここから生まれる酸素が体の隅々に行き渡って、大自然を全身で感じる。ああ、たまらない。この頃キャンプがブームらしくて、ソロキャンパーって単語も耳にするようになったけど、数あるキャンプ用品はどうにもハードルが高くてテレビや雑誌で見ているだけ。ここは必要な道具をレンタルして、身ひとつで大自然とあそべる。ひょっとこのわたし(たち)を大変甘やかしてくれる楽園だ。



わかさぎ釣りができると聞き、釣具を借りてチャレンジ。釣れた!と思って糸を巻いたけど、何もうなくて笑った。どうもわかさがあまりない日のようだ。でもそれすらもいいなと思える世界。意味なんていつだって人間が勝手に求めるものだ。自然というただそこにあるものを、あるがままに感じたい。そうしてまた、湖に糸を垂らした。

豊田湖畔公園

下関市豊田町大字吉 348

Tel.083-766-3488



みんなの表情が自然とゆるんでいる。明治時代から燻されている自在鉤(じざいかぎ)と囲炉裏(いろり)、かめから汲むお茶、精進料理を受け継ぐ田楽やお蕎麦。タイムスリップしたように見えるのに、まるでずっと前から体がこの場所を知っている気がして、考えるよりも先になじんでいた。



重兵衛茶屋

下関市豊田町大字奎路子 2019

Tel.083-768-0330



いつか家を買ったら、このテーブルにこの椅子をあわせて、お皿とマグはこれで……という妄想を延々と許してくれる場所。「何も買わなくとも見に来てくれるだけで本当にいいんです」と言うやわらかな店主兼職人のお二人。彼らがつくりだすあたたかい家具と陶器で、自分の部屋をうめつきたい。



木と土 Calm

下関市豊田町大字日野 363

Tel.083-766-0230



梨がじゅわ〜。圧倒的な梨のソフトクリームがひんやりと口に広がって、喉を通り抜けた。わたしの中に豊田の恵みが流れ込んでいく。どうやらこのあたりはジビエも盛んらしく、猪肉や鹿のソーセージを見かけた。道の駅は、まちの台所。そこがどんな場所なのか、語りかけてくれるから好きだ。



蛸街道西ノ市(豊田町道の駅)

下関市豊田町大字中村 876-4

Tel.083-767-0241



趣味ではじめてガーデニングが高じてできたお店は、こじんまりと行んでいた。静かなその空気にゆっくりと身をあずけて、それぞれ自分の時間をたのしむ。豊田というまちは心が風ぐ。20年変わらずにありつづけるこのお店で、お手製のシフォンケーキを食べながら、自分のこれまでとこれからを思った。



ガーデンカフェ カモミール

下関市豊田町大字手洗 388

Tel.083-766-3416



角島をゼンシンで楽しむ。
……そんな感じ。

絶景と噂に聞いていた角島大橋。鮮やかにきらめく日本海の上に、長くしなやかに伸びる一本道。どうしようもなくかっこよくて、その姿に息をのんだ。さっそくトクトクをレンタル。島内を駆け巡って、角島の風を体いっぱい浴びる。いつもの癖でスマホを開いてSNSでつぶやこうとしたけど、名前を呼ばれて書きかけの画面を閉じた。顔をあげるとみんなの笑顔。その後ろには眩しいほどの青色が広がっていた。

溢れ出す磯の香り。「ガンガン焼き」の蓋をあけると、缶の中で酒蒸しされた魚介類がゼリ出す。あれがいいこれがいい、それ取るうか?なんて言いあいながらシェアして、あっあつの魚介を頬張る。「これは別名"室内ワイルド魚介BBQ"だね」と真剣に言う彼。あまりの語呂のわるさに吹き出すと、彼もみんなつられて一緒にけたけた笑った。

グランビスタ角島

下関市豊田町大字角島

字田ノ尻 2899-1

Tel.083-786-1410



窓からやわらかな光が差し込む建物の中に、肩を寄せあうようにして並ぶ文房具。店主が国内外からよりすぐったものだ。オフィス文具のカatalogさえ読破してしまうわたしにとって、ここはワンダーランド。小さな赤い模様のふちどりがあしらわれた一筆箋と、チェコのペンを買って、今日もカバンに忍ばせている。



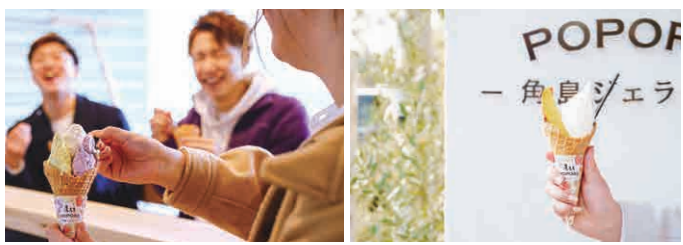
つつみ舎

下関市豊田町大字田耕 4230-1

Tel.090-7443-5808



保守派の君たちに告ぐ。「青のり」をはじめとする和のフレーバーは安心のおいしさだ。期間限定の焼き芋も、ジェラート屋だからとあなどるなかれ。一見変わったメニューも、宮城からやってくる前からつづく、変わらないものがあるからこそだ。変わらずに変わる。わたしもそうやってしなやかに生きたい。



角島ジェラート ポポロ

下関市豊田町大字神田 3873

Tel.083-786-0051



この電句*その笑顔も日常。
だけど、この味は非常態上。

地元のかたらしきグループが、屋下がりゆつたりと集っている。漁業婦人会のみなさんがつくったこのお店では、これが日常の風景。みんなのお腹を満たすために原価外視というメニューの数々。「実は魚が苦手だね」と、茶目っ気たっぷりに言うおかみさんのローストビーフ丼は、ちょっとだけ魚につかれたわたしにも染み込んだ。



野菜とって じゃなく
この色は持ち帰りたい。

こんな色どりの野菜があるなんて。この世界にはない、カラフルでやわらかい温度をもった色が、野菜から瑞々しく溢れ出ている。地下から汲みあげた天然温泉水と、山の湧き水でつくられた、採れたての季節の野菜。やさしい緑色と紫色の大根を買って、千切りサラダにした。その色としっかりとした甘みは、まるですめいのように、食卓に春の風が吹いた。

道の駅 北浦街道 豊北

四つ葉農園

下関市豊田町大字神田上 314-1

Tel.083-786-0111

シーフレンズふたみ

下関市豊田町北宇賀二見 3583-11

Tel.083-782-1234



牛乳好きって、信頼できる。
と、思わずにいいよ。

好きはつよい。きらきら輝く指針になる。「牛が、牛乳が好きすぎてジェラートにしました。牛乳たくさん使うでしょう?」と屈託のない笑顔で言う店主。山口県産のきらら牛乳と地元の新鮮な食材を使ったつくりたてのジェラートが、「好き」という言葉と混ざりあって溶けていく。闇夜の北極星のように光るこの場所に、何度だって戻ってくるんだ。

Mamena

下関市豊田町大字滝部 48-1

Tel.083-782-1095



懐料料理店に現れるカフェタイム。ケーキもドリンクもうつわも、大きなドライフラワーのリースも、ひとつひとつにカフェ店主のときめきがぎゅっと詰まっている。そのときめきが和の空間に丁寧に編み込まれていて、わたしたちをつつんでくれた。決められずに悩む時間も、待つ時間も、ぜんぶ好き。



御料理 齋座わ田 喫茶 オメデトウ

下関市豊田町大字角島 1889-4

Tel.083-786-2430



透明な箱は、まわりのものによって自在にその色を変える。何者とも境界線を感じさせないこの場所で、地元ひとと、そうでないひとと自由に交差していた。目の前を通過する電車を見たり、レンタサイクルをしたり、地元食材のメニューを味わったりしながら、大好きな仲間との話はどこまでもつづく。



Agawa(山陰線阿川駅)

下関市豊田町大字阿川

